



(1,500円)

実用新案登録願

昭和46年 5 月 13 日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称 **電気配線板**
 2. 考案者 **スズカシサイジロウテウ**
 住所 **三重県鈴鹿市西条町1612**
 氏名 **山本勝敏** (ほか4名)

17訂正

3. 実用新案登録出願人
 住所 **東京都中央区八重洲5丁目5番地**
 氏名 **(882) 本田技研工業株式会社**
 (国籍) **代役者 本田 繁一郎**
 4. 代理人 **〒 155**
 住所 **東京都世田谷区北沢5丁目23番2号**
 氏名 **(8882) 弁護士 石川 榮一**

5. 添付書類の目録
 (1) 明細書 1 通
 (2) 図面 1 通
 (3) 願書副本 1 通
 (4) (委任状) 1 通)



46-038530

方式
審判



47-33986-01
47-33686-01

明 細 書

1. 考案の名称

電気配線板

2. 実用新案登録請求の範囲

絶縁板の側面にそれと一体に塑造した数個の雄端子孔を設け、絶縁板に埋設した電導帯の端部を前記雄端子孔の底面から突出させてそれを雄端子とした電気配線板。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、多数の電導帯を埋設した絶縁板の側面に直接雄端子孔を構成して使用に便にした電気配線板の構造に関するものである。
次に図面について説明する。

1 は合成樹脂などによつて塑造した絶縁板であつて、その側面にはそれと一体に数個の雄端子孔 2 が塑造される。3 は直状の電導帯、4 は屈曲状の電導帯であつて、それらは塑造時に絶縁板 1 内に埋設され、かつそれらの端部は雄端子孔 2 の底面から突出されて雄端子 5、6 を形成する。7 は雄端子孔 2 に嵌合さ

れて雄端子 5、6 と接続する雌接続端子である。

多数の電導帯 3、4 等を絶縁板 1 に埋設して電気配線板を作れば、自動車の運転席前面の多数の計器類などに配線をする場合に空間を節約しうると共に配線作業が容易となるところである。本考案はこのような電気配線板の絶縁板 1 の側面に雄端子孔 2 を設けて、その中に各電導帯 3、4 の端部を雄端子 5、6 として突出し、それに雌接続端子 7 を接続しうるようにしたから、特別の雄接続端子を設ける必要がなくて構造が簡単となる。さらに雄端子孔 2 と電導帯 3、4 を絶縁板 1 の製造時に同時に製造、埋設したから製造が容易であつて、その実用的効果顯著である。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案電気配線板の一部切除した斜断面図、第 2 図はそのⅡ-Ⅱ断面図、第 3 図は雌接続端子の側面図である。

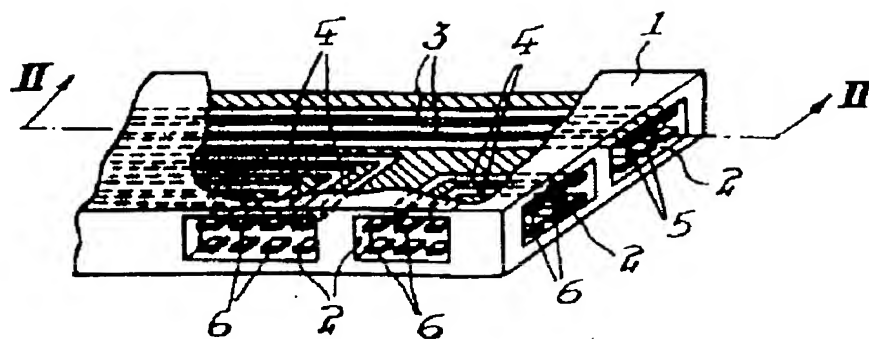
図面の符号中、1 は絶縁板、2 は雄端子孔、

3 は直状電導帯，4 は屈曲状電導帯，5 と 6
は雄端子である。

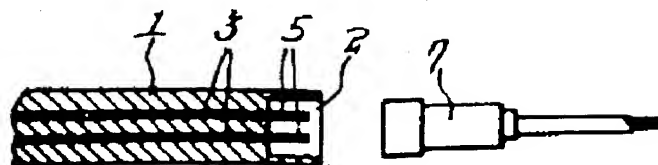
代理人 石 川 栄



第 1 圖



第 2 圖



代理人 石川栄一

47-33986-05
~~47-33986-05~~

6 ^{秀字} その他の発明者

2751E

^{スギ ナイ タ イ ナイ オギ タ マ}
~~東京都杉並区南荻窪 1 - 1 - 5 - 1 - 6~~

^{ナギ トキ ヲロト}
~~永 友 真~~

4行削除

^{ヒガシタ ル ノ シ タニウオウナロウ}
~~東京都東久留米市中央町 3 - 3 - 4~~

~~王 田 昭 空~~

^{シヤ シ シヤ}
 埼玉県志木市志木 2 2 6 2

^{カワタ メ ヨウ イチ}
 瓦 田 陽 一

^{サ ヤ シ シン サ ヤ}
 埼玉県狭山市新狭山 2 丁目 2 1 - 1

^{アイ カワ ノホ}
 相 川 昇

47-33986-06
~~47-33986-06~~